

市立甲府病院 地域医療連携だより

基本理念「いのちに光を、心にやすらぎを」

地域がん診療連携拠点病院

日本医療機能評価機構認定病院



No.2

平成23年5月発行

市立甲府病院

地域医療連携室

055-244-1111

病院長あいさつ

～ 新年度を迎えて～

新緑の候、各医療機関の皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から当院の運営に格別のご理解とご協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。新年度を迎え当院では医療スタッフも若干変更する中、心新たに診療に携わっております。

このたびの東日本大震災におきまして、4月4日から28日にかけて福島県郡山市にある避難所へ医療チームを派遣し、臨時診療所にて診療をさせていただき、被災地の1日も早い復興を願っているところでありますが、犠牲になられた方々に心からご冥福をお祈り申し上げます。

さて、本年度の当院の重点取組項目として、「医師・看護師等の積極的な人材の確保」や「地域医療連携の更なる推進」などを掲げており、各医師会の皆様との交流会の開催や地域医療勉強会等を通して、例年以上に当院と各医療機関の皆様との連携を強化し、「顔のみえる医療」の実現を図るとともに、昨年4月より指定されました「がん診療連携拠点病院」としても、がん患者の受入れ対応や相談業務の充実を図ってまいりたいと考えております。

今回、第2回目となる「地域医療連携だより」の発行を通して、当院から各医療機関の皆様に対し情報発信させていただき、「地域医療支援病院」指定の実現に努めてまいりますので、これからもご理解・ご協力をお願いいたします。

おわりに、皆様方の益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。



院長 小澤 克良



■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ <地域医療連携室よりお知らせ> ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

○診療予約等の申し込みについて

①「診療予約申込書」の所定事項を記入の上、FAXにて送付して下さい。

②保険証記号番号がわかる場合は、その写しも送付して下さい。

③予約日時が決まり次第、予約票を送付します。（おおむね15分程度です）

※なお、「診療予約申込書等」は、市立甲府病院のホームページよりダウンロードができますので、ご活用ください。

診療科紹介

外科 消化器外科

担当医師 巾 芳昭、千須和 寿直、三井 文彦、赤池 英憲、國光 多望



部長 巾 芳昭

消化器外科学会指導医2名、消化器外科学会専門医1名、外科学会専門医1名の4名のスタッフを中心に治療にあたり、消化器外科学会専門医修練施設、外科学会認定施設、地域がん診療連携拠点病院に指定されています。胃癌、大腸癌、肝癌、胆道癌、膵臓癌等の消化器系癌を中心に胆石、崁径ヘルニア、虫垂炎等の良性疾患の手術を施行しております。悪性疾患については、全国のメジャー施設とほぼ同等な手術成績を残しております。お待たせしない早期の手術を心がけており、ご紹介後約2週間前後で手術ができる態勢をとっております。早期癌に対しては可能な限り機能を温存する低侵襲な手術を行い、進行癌に対しては血行再建等も積極的に行っておりますが手術のみにはこだわらず、放射線専門医による放射線療法、化学療法も取り入れ切除率を向上させるとともに、術後のQOLを維持できる治療を選択しています。最近では術後の在院期間が短くなり、早期より開業の先生方に経過観察いただく患者さんも増えております。また、内視鏡学会指導医1名、専門医2名と非常勤医師による消化管検査や内視鏡の治療（ポリペクトミー）も行っています。手術、検査目的の患者さんがおられましたら是非ご紹介下さい。早急に手術、検査を行い先生方にお戻しさせていただきます。よろしくお願いいたします。

呼吸器外科

担当医師 宮澤 正久、國光 多望



科長 宮澤正久

肺がん・転移性肺腫瘍等の肺悪性腫瘍、自然気胸、胸腺腫等の縦隔疾患、膿胸等の炎症性疾患の外科治療を行っています。呼吸器外科専門医1名を含んだ2名のスタッフが呼吸器内科、放射線診断科、放射線治療科、病理科の各医師と密に連携し診療にあたっています。肺がんのうち早期の症例に対しては、胸腔鏡下手術や縮小手術を積極的に取り入れ、根治性を保ちつつ可能な限り負担の少ない手術を目指しております。また、肺がん術後補助化学療法に関しては、通院治療室（外来化学療法室）専属の薬剤師・看護師とも協力しながら患者さんのQOLを低下させることなく通院治療を行っています。外来診療は毎週火曜日・木曜日の午前中に行っておりますので、ご相談症例があればよろしくお願いいたします。

乳腺外科・内分泌外科

担当医師 國友 和善、村松 昭



科長 國友和善

乳癌検診や人間ドックにて異常を指摘された患者さまに対する精査や乳腺腫瘍及び乳癌に対する外科的治療（乳房手術、センチネルリンパ節生検など）、外来を中心とした薬物治療（内分泌治療、化学療法、分子標的薬治療）、再発乳癌患者さまに対する緩和治療などを行っています。放射線治療が必要な場合は、放射線治療科と相談し治療を行っています。また、甲状腺癌や甲状腺腫瘍の患者さまに対しては、外科的治療を中心に行っております。

整形外科

担当医師 前川 慎吾、堀内 忠一、川崎 晋睦、中村 祐敬、穴山 聡
藤巻 圭太、羽中田 紘司



部長 前川慎吾

当科では脊椎外科、関節外科、スポーツ整形、手の外科、外傷の診療を行っており、骨軟部腫瘍、小児整形を除くほぼ全ての分野において、県内トップクラスの診療を行える体制を整えています。

脊椎外科は日本脊椎脊髄病学会の脊椎脊髄外科指導医2人を中心とし、椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症はもとより脊柱側弯症や変性側弯症までも治療可能です。関節外科については、一般的な人工関節置換術に加え、難しいとされる人工股関節や人工膝関節の再置換術についても積極的に取り組んでいます。スポーツ外傷において問題となる肩関節、膝関節の損傷についても、関節鏡を用いた小侵襲手術において経験豊富な医師が治療にあたっています。本年度より県内で不足している手の外科専門の医師も着任しました。外傷など緊急性のあるものについても随時対応いたします。

病診連携などによる患者様の紹介をお待ちしております。緊急の場合は電話で問い合わせただいただければ幸いです。

各セクション紹介

リハビリテーション科

担当医師 土屋 崇、及川 奏、前川 慎吾、富樫 慎治



部長 土屋 崇

当科は、常勤医師1名、兼任医師3名、理学療法士6名、作業療法士2名、言語療法士1名、マッサージ師1名により構成されています。病院が急性期型病院であるため、急性期リハビリテーションが多いのが特徴です。早期離床、早期リハビリテーションにより機能改善を図っています。それ故、緊急性の高い症例に対しては、土日祝祭日にも積極的に対応しています。一年前より言語療法士が着任し嚥下障害、誤嚥性肺炎、言語訓練の症例が増えてきました。更に医療ソーシャルワーカーによる医療相談室も併設され、総合的な社会復帰を目指しています。屋内リハ以外に屋外リハビリテーションも整備されたリハビリガーデンにて暖かな外気を吸いながら行うこともできます。

外来通院治療室

担当医師 大木 善之助



室長 大木善之助

当院では、がん患者様の主な治療法である抗がん剤治療について2004年5月より外来にて専門のセクションである外来通院治療室をスタートさせました。より安全そして快適な治療を受けていただけるよう、専任薬剤師及び専任看護師が常駐しており、月1回の化学療法委員会において治療室で起こる様々な問題点を議論しております。肺がん及び乳がんを中心に年間延1,500人（一日平均6人）の患者様に利用していただいております。今後は、他病院或いは開業医からの外来抗がん剤治療の患者様に利用していただければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。